

10/15 玉野町営農組合が乾燥調製施設を新設



▲乾燥機 5 基、粗粗選機 1 基、粉摺機 1 基などを設置。

農事組合法人玉野町営農組合は、県内第 1 号で国の「産地パワーアップ事業」が採択され、飼料用米の乾燥調製施設を新設しました。

国の「食料・農業・農村基本計画」で、飼料用米の生産拡大が示されており、平成 30 年には同施設で市内営農組合組織等から約 56ha 分を受け入れる予定で、生産者の経営の安定化が期待されます。

10/23 旧北条宿場町で多彩なイベント



▲ハロウィンパレードで盛り上がる参加者。

江戸時代に宿場町として栄えた北条町北条地区で 10 月 22・23 日の 2 日間、「第 9 回北条の宿はくらんかい」が開催されました。

地域団体の飲食店や手作り作品の販売などが通りに並び、多くの人で賑わいました。また、子どもたちがカボチャのお面をかぶるなど、仮装して旧街道沿いを歩き回る「ハロウィンパレード」もありました。

10/28 播磨農高生と園児がパン作り



▲パンにブドウジャムを塗る生徒と園児。

食育体験学習として加西市の食を知ってもらおうと、播磨農業高校の 2 年生 19 人が、愛の光幼稚園で園児 47 人とブドウジャムパンを作りました。

園児と一緒に米粉パンにクリームと同校のゴールデンベリー A で製造したブドウジャムを挟みました。試食した園児は「ジャムをいっぱい塗ったので、甘くてとてもおいしい」と笑顔でした。

11/2 播磨農高生がレストランづくり



▲山田さん（右）のアドバイスを真剣に聞く生徒。

播磨農業高校の生徒 15 人が、同校の農産物などを使ったレストランづくり事業「はりまのちっちゃな台所」に取り組んでいます。

この日は、建築デザインで数々の賞を受賞する山田悦子さん（建築デザイナー・加西市出身）から「今あるものを生かしながらか、人の動線を考えて空間をデザインする事が大切」などとアドバイスを受けました。

加西市のことなら

加西市のホームページをご覧ください。スマートフォンにも対応



かさい観光NAVI

遊ぶ・見る・食べるなどの観光情報が満載



子育て、定住支援情報



子育て・定住支援情報サイト



かさい子育て NAVI

子育てイベントや子育ての悩みを解決



11/6 あびき湿原保存会が森づくり活動賞



▲木道づくりに取り組むメンバー。

あびき湿原保存会（山下公明会長）は、森林整備活動や啓発活動などが評価され、（公社）兵庫県緑化推進協会から「ひょうご森づくり活動賞」を受賞しました。県内では同保存会を含む3団体が表彰されました。

同保存会は、湿原の保全を目的とした間伐や下刈り作業に取り組む一方、子どもから大人までが楽しむことのできる観察会なども開催しています。

11/12 ふるさと加西への愛着を深める



▲来年の再開を約束して記念撮影。

東京を中心に、関東在住の加西市出身の方やゆかりのある方が集う「東京加西会」が、KKR ホテル東京で開催されました。郷土の発展に寄与することを目的に、今回で28回目の開催です。

同会の竹本進一会長が「故郷に思いを寄せて、語り合いましょう」とあいさつ。会員など42人が1年ぶりの再会を喜び、ふるさと談議に花を咲かせました。

11/16 加西特産の冬かぼちゃ「ダークホース」



▲出荷作業をする金子房義さん（鶴野町）。

加西ブランド協議会（加西市・JA兵庫みらい・加西商工会議所）が、市内農家14組とともに高級かぼちゃ「ダークホース」の生産に取り組んでいます。

栽培に手間がかかり採れる量も少ないため希少価値が高く、絶妙な甘みとホクホク感がたまらない芳醇な味わいで一度食べるととりこになります。12月17日（土）午前には、かさい愛菜館で店頭試食会を行います。

11/19 農業技術とのふれあい



▲サツマイモやもち米を販売する常吉町営農組合員ら。

県立農林水産技術総合センター（別府町）で、公開デーが開催されました。

同センターでの試験研究内容や施設、機械の紹介、農作物の販売、生き物のふれあいやクイズなど、多彩な催しがありました。また、農事組合法人アクシス常吉（常吉町営農組合）が栽培したサツマイモなども販売され、多くの来場者で賑わいました。

播磨国風土記の里 加西

事業の取り組み等を紹介



テレビで緊急情報「まちナビ」



サンテレビのデータ放送で緊急情報などを発信

災害に備えて「かさい防災ネット」



災害時に避難勧告などの防災情報をメールで自動配信

